

1月

新着本の紹介



青字は児童書

書名	著者名	内容
ブラック・ショーマン と名もなき町の殺人	東野 圭吾	謎を解くためなら、手段を選ばない。コロナの時代に、とんでもないヒーローがあらわれた！名もなき町。ほとんどの人が訪れたこともなく、訪れようもしない町。けれど、この町は寂れてはいても観光地で、再び客を呼ぶための華々しい計画が進行中だった。最新で普遍的。
Seven Stories 星が 流れた夜の車窓から	恩田 陸 他	列車の旅を愛する人たち垂涎の豪華寝台列車「ななつ星」は、開業7年目を迎えるいまでも、予約が取れない状況が続いています。その「ななつ星」に現代を代表する作家、井上荒野、恩田陸、川上弘美、桜木紫乃、三浦しをん、さらには旅を愛するふたりのクリエイター、糸井重里、小山薫堂が乗車、新しい旅から生まれた極上のストーリーをお届けします。
今度生まれたら	内館 牧子	70歳になった佐川夏江は、夫の寝顔を見ながらつぶやいた。「今度生まれたら、この人とは結婚しない」夫はエリートサラリーマンだったが、退職後は「蟻んこクラブ」という歩く会で楽しく余生を過ごしている。自分の人生を振り返ると、節目々々で下してきた選択は本当にこれでよかったのか。やり直しのきかない年齢になって、夏江はそれでもやりたいことを始めようとあがく。
雪に撃つ	佐々木 譲	さっぽろ雪まつり開幕前日に起こった、自動車窃盗事件、少女の家出、そして発砲事件。無関係に見える事件が、一年で一番賑わう札幌でひとつに収束していき…。
騙る	黒川 博行	大物彫刻家が遺した縮小模型、素人の蔵に眠っていた重文級の屏風、デッドストックのヴィンテージ・アロハ… …。 こいつは金になる——。古美術業界の掘り出し物にたかる、欲深き人びと。だまされ、最後に笑うのは誰？ 著者の十八番、傑作美術ミステリー連作集！
雪のなまえ	村山 由佳	つらいことからどうして逃げちゃいけないの？ 都会から田舎で暮らす小学5年生の雪乃とその一家の葛藤を描く、感動の成長物語。

<p>何がおかしい 新装版</p>	<p>佐藤 愛子</p>	<p>コロナ不況の沈滞した世の中、「こんなヘンな人間でも97年も元気よく生き抜けるのだ」と、心丈夫に思ってもらえれば…。60代の頃に女と男、虚栄心、知性と笑い、子育て、教育について綴ったエッセイを書籍化。</p>
<p>冬の狩人</p>	<p>大沢 在昌</p>	<p>3年前の未解決殺人事件の重要参考人から、警視庁新宿警察署の佐江が護衛するなら出頭するという連絡が。だが彼は、暴力団員との撃ち合いが原因で休職中。なぜ彼に指名を…？</p>
<p>地球の歩き方 2021~22 JO1 東京</p>	<p>地球の歩き方編集室</p>	<p>日帰り旅行から滞在型の旅まで、東京をじっくり楽しみたい人のためのガイドブック。エリアガイドをはじめ、歴史と文化、グルメ、ショッピングなどを掲載。</p>
<p>♪ピンポンパンポンプー</p>	<p>中居正広 劇団ひとり 古市憲寿</p>	<p>カピバラののんちゃんとびりーくんは、大の仲良し。けれど、びりーくんの誕生日の約束に、のんちゃんはいつまでたっても来ない……ちいさなすれ違いからケンカをしながらも、ともだちの大切さを思い出していくやさしく愛おしい物語。♪ピンポンパンポンプー！この一言で、誰だって仲直りできるーみんながしあわせになれる、魔法のあいことば。</p>

【お知らせ】

新しい雑誌を配架しました！

- NHKテレビテキスト「囲碁講座」 ■「すてきにハンドメイド」
- 「ESSE」

